

# 特別法人長野県道路公社について

## 1 有料道路制度

国又は地方公共団体が道路を整備するにあたり、財源不足を補う方法として借入金を用い完成した道路から通行料金を徴収して返済に充てる方式。

有料道路の利用によって、距離や時間が短縮され費用が節約されること、通常、代替道路が存在すること。

## 2 法人の概要

### (1) 特別法人長野県道路公社

#### ① 設立年月日

昭和47年9月1日 長野県道路公社設立

(地方道路公社法に基づく特別法人)

#### ② 設置目的

道路整備の一環として、地域の幹線道路の整備を促進して交通の円滑化を図り、生活環境の向上をはじめ、住民の福祉の増進と産業経済の発展に寄与する。

・料金を徴収することのできる道路の新設、改良、維持、修繕、その他の管理を総合的かつ効果的に行う。

### (2) 組織

① 所在地 本社 長野市大字南長野字幅下667-6(長野県土木センター内)  
7管理事務所(三才山トンネル、新和田トンネル、平井寺トンネル、  
松本トンネル、志賀中野、白馬長野、五輪大橋)

② 出捐金 21,952,700千円(長野県100%出捐)

③ 職員数 (H19.4.1現在)

役員 5人 : 理事長(県土木部長・非常勤)、監事(県会計管理者、県財政課長・非常勤)、副理事長(県OB)、理事(県OB)

職員 45人 : 県派遣職員 5人、プロパー職員 6人、  
県OB職員 17人、他団体派遣 2人、臨時職員 15名

### (3) 管理路線の概要

別紙のとおり

### 県出資等外郭団体の改革基本方針及び改革実施プランの概要

【無料開放】

・公社の管理している全路線を無料開放・団体の廃止(財務条件を満たした時点において)平成26年度末

【県民理解】

・早期無料開放に伴う県出資金の扱いについて県民理解を得るよう努める。

【プロパー職員の処遇】

・プロパー職員の雇用確保には、団体及び県が責任を持って対応する。

【経営改善】

・公社の経営改善に向けた取り組みを引き続き行う。

### 公社改革の実施状況

平成15年度

・ホームページへの経営状況の登載

・建設工事、委託業務の受注希望型競争入札の導入

平成16・17年度

・県派遣職員を減員し、プロパー職員の登用や県OB職員の採用

区分	平成15年度	平成17年度	平成19年度
県派遣職員	20人	6人	5人
県OB職員	6人	18人	19人

平成17年度

・料金徴収業務等委託契約の一般競争入札への移行

平成18年度

・公社経営計画の策定

平成19年度

・プロパー職員の処遇についての要領策定

### 課題等

・平成26年度末に改革実施プランどおり実施した場合、県出資金約220億円は返還できない。(平成38年度まで存続した場合、約30数億円は返還できない見込みです。)

・公社が管理する6路線7区間のうち、その収入の約3/4は新和田・三才山トンネル有料道路が占めており、社会実験の行っている路線・区間が経営を圧迫している状況である。(原則は、各路線毎の採算性を確保する。)

・新和田、三才山トンネル有料道路は長大トンネルや橋梁等の構造物を多く有しており、多額の維持管理経費を要している。また、長大トンネル等の危機管理対応が難しい。

区分	トンネル延長	橋梁
新和田トンネル有料道路	新和田トンネル 1,922.2m	土屋大橋以下 12橋
	湖北トンネル 2,151.0m	最長 173.0m
三才山トンネル有料道路	三才山トンネル 2,510.9m	鹿教湯大橋以下 15橋
	松本トンネル 2,447.0m	最長 357.5m

・公社の廃止に伴う有料道路の全路線の無料化は、有料道路制度及び法の趣旨に相反するとともに、全国的に事例がない特殊なケースとなることから変更許可申請の時期を含め国と協議が必要である。

## 管 理 路 線 の 概 要

有 料 道 路 名		三才山トンネル		新和田トンネル		平井寺トンネル	志賀中野	白馬長野	新長野大橋 (五輪大橋)	計
		三才山区間(三才山トンネル)	松本区間(松本トンネル)	既設区間	延伸区間					
路 線 名		一般国道254号		一般国道142号		県道上田丸子線	県道中野豊野線	県道長野大町線	県道三才大豆島中御所線	6路線 7区間
有 料 道 路 区 間	起 点	上田市鹿教湯温泉	松本市大字三才山	長和町和田	下諏訪町西餅屋	上田市古安曾	中野市大字七瀬	長野市信更町安庭	長野市大字大豆島	
	終 点	松本市大字三才山	松本市大字島内	下諏訪町	岡谷市長地	上田市東内	中野市大字栗林	中条村大字中条	長野市真島町	
管 理 延 長(m)	全 体	8,546.5	6,579.8	4,820.16	10,400.0	1,775.3	2,624.0	1,972.0	1,350.0	38,067.76
	中 間 区 間	4,750.2	2,669.8	-	7,100.0	-	-	-	-	
	ト ン ネ ル	三才山 2,510.9 孫六 239.6	松本 2,447.0	新和田 1922.2	湘北 2,151.0 木落し坂 499.0	平井寺 1,381.0	中野 720.0	日高 1,137.0	-	13,007.70
総 事 業 費 ( 百 万 円 )		4,328	16,600	7,200	13,200	4,410	9,380	4,500	11,700	71,318
供 用 開 始		昭和51年10月31日	平成6年12月15日	昭和53年10月4日	平成16年3月27日	昭和63年8月25日	平成7年3月16日	平成7年2月16日	平成8年12月26日	
料 金 徴 収 期 間		昭和51年10月31日		昭和53年10月4日		昭和63年8月25日	平成7年3月16日	平成7年2月16日	平成8年12月26日	
		(当初計画平成18年10月30日)		(当初計画平成20年10月3日)						
		平成33年6月9日		平成37年3月29日		平成30年8月24日	平成37年3月15日	平成37年2月15日	平成38年12月25日	
		(44年8月間)		(47年6月間)		(30年間)	(30年間)	(30年間)	(30年間)	
実績交通量 (台)	17年度(総数)	2,914,781	1,149,202	2,143,633		1,403,658	1,917,010	1,454,866	2,149,074	13,132,224
	17年度(除夜間無料)	2,914,781	860,548	2,143,633		1,403,658	1,523,089	1,087,707	1,797,824	11,731,240
料金収入(千円)	17 年 度	1,520,278	85,448	1,546,547		273,313	151,551	219,092	177,637	3,973,866
総収入計(千円)		1,559,483	85,543	1,617,244		273,351	151,818	344,025	177,767	4,209,231
総支出計(千円)		721,562	1,046,286	1,250,068		499,952	560,114	523,497	582,997	5,184,476
うち管理・維持改良費(千円)		572,206	181,723	646,186		197,181	76,262	70,044	59,032	1,802,634

現在、社会実験により松本、志賀中野、新長野大橋については昼間全車種100円、夜間全車種無料、白馬長野については夜間全車種無料。